

令和 7 年度
厚 沢 部 町 簡 易 水 道 事 業
会 計 決 算 審 査 意 見 書

厚 沢 部 町 監 査 委 員

令和 7 年度厚沢部町簡易水道事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された厚沢部町簡易水道事業会計決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、欠損金処理計算書、貸借対照表、収益費用明細書、固定資産明細書、事業報告書及び各関係帳簿、証明書類について審査を終了したので、次のとおり意見を付する。

令和 8 年 8 月 28 日

厚沢部町代表監査委員 岩 田 健 二

厚 沢 部 町 監 査 委 員 松 村 松 雄

第1 審査の概要

1 審査年月日

令和8年7月31日（金）

2 審査に従事した監査委員及び書記

代表監査委員	岩	田	健	二
監査委員	松	村	松	雄
書記	藤	田	智	美
書記	首	藤	浩	平

3 審査のため説明を求めた者の職氏名

副町長	合	浦	博	昭
総務財政課長	安	田		光
会計管理者	佐	藤	武	徳
建設水道課長	森		理	生
上下水道係長	久保田	和		敏
上下水道係主査	福	島		耕
上下水道係	山	田	拓	也
財政係長	小	森	賢	人

4 審査の手続き

決算審査にあたって、簡易水道事業の財政状況及び経営内容が適正に表示されているかを検証するため、会計帳簿、証拠書類と照合のほか必要と認めるその他の審査を実施した。さらに、本事業の経営内容分析を行い、経済性の発揮及び公共性の確保を主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

決算については、決算諸表と関係諸帳簿及び証票を照合した結果、いずれも符合しており、経営状況を適正に表示しているものと認めた。

2 経営の状況について

令和7年度の収支状況は、収益的収支の収入が226,406,350円（税抜）で、支出は225,929,358円（税抜）となり、この結果、損益計算書での当年度純利益は476,992円となり、この利益については資本金に組み入れることとしている。

資本的収支は、収入335,234,800円（税込）、支出380,958,400円（税込）で不足額が45,723,600円であり、当年度分損益勘定留保資金で補填した。

表1 収益的収入及び支出決算額

（単位：円）

区 分		7年度決算額 a	6年度決算額 b	増減 a-b
収入	簡易水道事業収益	226,406,350	208,016,243	18,390,107
支出	簡易水道事業費用	225,929,358	207,065,227	18,864,131
収入支出差引額		476,992	951,016	△474,024

※消費税及び地方消費税抜き

表2 資本的収入及び支出決算額

（単位：円）

区 分		7年度決算額 a	6年度決算額 b	増減 a-b
収入	資本的収入	335,234,800	307,538,026	27,696,774
支出	資本的支出	380,958,400	342,791,548	38,166,852
収入支出差引額		△45,723,600	△35,253,522	△10,470,078

表3 業務量

事 項		単位	令和 7 年度	令和 6 年度	比較		
					増減	比率	
給	水 人 口	人	3, 237	3, 338	△ 101	△ 3. 0	
給	水 栓 数	栓	1, 853	1, 866	△ 13	△ 0. 7	
配	水 量	年 間	m³	366, 825	378, 018	△ 11, 193	△ 3. 0
		1 日 平 均	m³	1, 005	1, 036	△ 31	△ 3. 0
有	収 水 量	年 間	m³	360, 576	371, 845	△ 11, 269	△ 3. 0
		1 日 平 均	m³	988	1, 019	△ 31	△ 3. 0
一 日 最 大 配 水 量		m³	1, 795	1, 795	0	0. 0	
有 収 率		%	98. 3	98. 4	△ 0	△ 0. 1	

(3) 審査意見の総括

本町における簡易水道事業経営については、老朽施設の更新が必要となる中、人口減少等により財源となる給水収益の減少が見込まれる。長期的に安定した経営を目指すため、令和7年度に改定した厚沢部町簡易水道事業経営戦略に基づき、経営基盤の強化を図るほか、事業経営の改善や合理化等による経営健全化に努められたい。あわせて、良質で安全な水道水の安定的供給を続けることが、結果として住民サービスの向上および収支改善にもつながることを強く期待し、審査意見とする。